

# 議会だより なかがわ



栃木県那珂川町

【臨時号】

平成28年4月10日

## 議会報告会を開催しました

1月22日～2月5日

### 議会報告会も試行錯誤で

議長 大金市美

◆議会報告会は、平成26年2月、「議会基本条例」制定のために初めて開催し、今回で3回目、条例制定後は2回目となります。

開催時期が1月下旬から2月上旬で寒い中ご参加いただき、大変ありがたく思います。次回開催に際しては、参加しやすい時期を検討していきます。一人でも多くの町民、そして若い世代の方々、女性の方々にも参加していただきたいと思えます。

まだまだ不慣れなせいか、反省すべきことも多く、今後も試行錯誤しながら開催していきたいと思えます。

◆議会報告会は、  
・町民に議会の活動や取り組み状況を知っていただくこと、  
・町民の意見や要望を聞きながら、町政に反映、提言していくこと、  
を、目的としています。

◆さて、議員は、町民から選挙され付託を受けた町民の代表であり、議会はその議員の集合体です。議員の主義主張、考え方もそれぞれ異なりますが、その

一方で、議会としての方向性や継続性もあって、一議員としての立場と議会の一員としての立場の両面を持ち合わせています。

議員として臨むなら「議員懇談会」でありますが、「議会報告会」は議会の一員として臨むものであります。参加される方々には、この点をご承知おき願うものであります。

◆また、町長が開催する「町政懇談会」と勘違いされやすいのですが、議会に町政の執行権はありません。

議会は町政執行のチェック機構でもあり、議会報告会での町民からの意見や要望も踏まえながら、本議会や委員会活動を通じて、今後も町に提言、提案を行なっていきたいと思えます。

◆行政と議会、町民が協力し合っていくきましょう。





1月22日 松野多目的集会所にて

### 議会活動について

**質問** 議会だよりで、各議員の質問回数を掲載する考えはあるか。

**回答** 議会だよりに、一般質問者ごとの内容を掲載している。併せて常任委員会の活動状況も掲載している。

**質問** 町ホームページの運営で、常に最新の情報を掲載すべきではないか。議員としてチェックする必要があるのではないか。

**回答** 情報の発信源として適正かつ迅速な運用がなされるよう伝えるところにも議員もチェックしていく。

**質問** 各常任委員会で審査・調査を行う上で知識が必要であるが、どのような方法で習得しているのか。

**回答** 議員各自が、研修会や講習会に自費で参加したり、先進地の視察担当との面談などで活動している。

所管事務で問題視される案件等については、現地調査等を実施し、担当課長等を交えて意見交換等を行なっている。

議員が勉強するためには、政務活動費の制度化が将来的に必要と考えている。

**質問** 議員には民意を反映させる責任があるが、首長と議員の二元代表制の観点から、議会が十分にその職責を果たしているか。

**回答** 民意の反映という点については、地域との懇談などが薄れていることは十分認識している。そのような観点に立ち、議会基本条例で議会報告会を盛り込み、地域の意見の吸い上げを図っている。

### 平成26年度決算審査意見の概要について

**質問** ふるさと納税が増加するような方策を検討して欲しい。

**回答** 26年度は数十万円程度であったが、27年度は1月中旬現在

で、3600万円ほどに増加している。

納税が伸びるよう返礼品に町の特産物を増やし、納税趣旨に沿って活性化に繋がる施策を検討し提言する。

### 少子高齢化対策について

**質問** 若者定住促進の問題で道路事情が交通機関を含めて良くないのに住宅を建ててメリットがあるのか。スーパーやインフラ整備など総合的な検討をすべき。

**回答** 子育て支援対策として中学生までの医療費の無料化、学童保育の充実、子育て祝い品の創設などが、政策提言により実現されてきた。

一方で、人口減少に歯止めがかけられないことから、結婚対策として、婚活事業者やコミュニティ団体への委託による効果的な方法を考えるべきであり、定住対策としては、若者が定住できるようなIターン・Uターンの住宅の受け皿として、若者の意見を取り入れた集合住宅の建設や民間の賃貸住宅に対しての家賃補助支援策などが有効と考えている。

また、住環境を整備することにより、大田原市やさくら市・宇都



1月27日 大内生活改善センターにて

宮市への通勤圏とするベッドタウン化構想を検討すべきと考える。

**質問** インフラ整備とベッドタウン化には賛成だ。レジャー施設化して、国道293号と294号が交差するあたりに一極集中化するなど若者が生活しやすい環境にして欲しい。

**回答** 主要国道である293号と294号のインフラ整備を県に要望していきたい。

**意見** この町に合う暮らし方を考えるのが一番いいと思う。箱物などの物質的な考え方はダメ。【自己完結型・自分たちでできることは自分たちでやる】というメッセージを町民に訴えるべきである。

## 新庁舎建設について

**質問** 庁舎位置変更の議決段階では既に多額の予算が投じられており反対できないような状況下での議決となった。執行部は議会の意向を無視してやりたいように進めている。

庁舎位置の変更がどの段階で決まったのか一般市民は知る由もなく、このような状況を議会はどのように考えているのか。

**回答** 地方自治法の位置条例の認識に欠けていた。また、建設関係予算を認めていた。

**質問** 過疎化が進む那珂川町にお



1月31日 小川総合福祉センターにて

いて、現在進行している総合庁舎延べ床面積約3800㎡は当町において適正であるのか。今後の人口動向予想、財政規模、産業構造、行政需要を踏まえたい。

**回答** 一定の職員数を元に、総務省基準に合わせて算出された結果を認めた。

**質問** 新庁舎の保守料及び維持管理費は年々増加していくことが確実である。保守料、維持管理費は毎年いくらかかるのか、設計契約に基づく明確な資産額を示してほしい。

**回答** 執行部からのいくつかの案が示され、効果的、効率的な形態を選択した。

《議会より》

新庁舎建設については、この他にも様々な質問や要望がありましたので、今後、議会だよりでお知らせしていく予定です。

## その他の事項で

**質問** 県営馬頭最終処分場から放射能漏れが起これば、那珂川町は甚大な被害を受けて川や温泉、米、そば、フグ、その他に至るまで風評被害の可能性がある。議員の考えを伺いたい。

**回答** 議会でも放射能に関する勉強会しており、搬入が予想される放射能の基準値に関しては、議会においても調査研究をし、町民の安全性を担保できるように示していきたい。

**質問** 農産物6次化を、町・J・A・生産者が一体となり取り組む仕組みをつくってはどうか。

**回答** 6次化に対しては現在取り組んでいるが、資金の問題や保健所の規制が厳しく、販売ルートの確保が困難であることが課題である。今後、行政・地域が丸となって前向きに取り組んでいく。

**質問** 降雪時の除雪車出勤には、降雪量などの基準があるのか。

**回答** 除雪業務の委託方法を、道路状況を熟知する地区内事業者に委託できるよう提言していく。

**質問** 現存する公共施設は壊さずに、いろいろな人が足を運べるような場所になるように再利用してはどうか。

**回答** 第2次行財政改革推進計画において公共施設のあり方が打ち出される。これを踏まえて施設の内容とその状況を調査していく。

**質問** 昨年、町づくり懇談会が開催されなかったがなぜか。

**回答** 町執行部が開催することなので議会とは別であるが、議会か

らも町長に提言しておく。

## 会場アンケートから

各会場でご協力いただいたアンケートから、意見や要望をご紹介いたします。

◇活動報告はケーブルテレビ等で公表すれば良く、財政や決算の件は資料の配付で十分。

◇議員の仕事が身近に感じた。また議員がこんなに学んでいる事がわかり、参加して良かった。◇質問は要点中心の発言をさせる工夫を。



2月5日 旧小川南小学校ランチルームにて



- ◇ 議会ですべての問題になつてきている事項を詳しく説明して欲しい。
- ◇ 開催日時や回数を工夫して欲しい。
- ◇ 議会の意見・要望を重点に話して欲しい。
- ◇ 議会報告会は、開かれた議会、見える議会を目指すとされているので、できるだけ多く設けて欲しい。
- ◇ 初めて参加したが、知らない事が多く恥ずかしかった。次回も参加したい。
- ◇ 議員定数を削減したらどうか。
- ◇ 特に若者を、将来を担う者たちを引き付ける機会にして欲しい。
- ◇ 八溝定住圏として、大田原市とは全ての面で交流を深めて欲しい。
- ◇ 荒廃農地の共同利用、あるいは共同果樹の利用を。
- ◇ 子供が利用できる場として山林

50代以上が9割以上を占めており、女性に加え、働き盛りの若い方々にも参加していただきたい。

	70代以上	60代	50代	40代	30代	女	男
	9名	19名	9名	1名	1名	4名	53名
	(23%)	(48%)	(23%)	(2%)	(2%)	(7%)	(87%)

Q1 性別と年齢を教えてください。

◆会場アンケートの結果から  
町民参加者57名中40名(83%)から回答をいただきました。

《議会より》  
これらの他、開催方法や運営方法について、様々なご意見をいただきました。

- ◇ 利用を。
- ◇ 町内の美しい河川を利用した事業を。
- ◇ 使われなくなった公共施設の活用を。
- ◇ 未来の那珂川町を考え、教育への力を大きくする必要はある。優れた人格に育った町民は町のために働くと思う。

のです。

Q2 開催の曜日や時間帯はいつが良いと思いますか？

土日の夜	15名	(38%)
土曜の午前中	11名	(28%)
土日の夜	7名	(18%)
土曜の午後	5名	(13%)
いつでもよい	3名	(8%)
平日の日中	1名	(2%)

土日午前中の開催希望11名中、10名が日曜日午前に開催した小川総合福祉センターでの参加者でありました。

Q3 議会報告会に参加した感想をお聞かせください。

良かった	20名	(50%)
良くなかった	2名	(5%)
思っていた内容と違った	9名	(23%)
わからない	3名	(8%)
未記入・その他	6名	(15%)

Q4 今後も議会報告会に参加したいですか？

参加したい	29名	(73%)
参加したくない	1名	(2%)
わからない・未記入	10名	(25%)

【開催状況】

1	1月22日(金) 午後7時 松野多目的集会所	8名
2	1月27日(水) 午後7時 大内生活改善センター	13名
3	1月31日(日) 午前10時 小川総合福祉センター	27名
4	2月5日(金) 午後7時 旧小川南小学校	9名
参加者数計		57名
前年参加者数(4回開催)		59名

編集後記

報告会では参加された皆様からたくさんのご意見質問・ご要望をいただきました。紙面の都合上まとめさせていただいたり、今後の議会だよりで返答させていただいたりするものもあります。ご理解のほどよろしくお願ひします。皆様から頂いたご意見を真摯に受け止め、これからの議会活動に活かしてまいります。また次回の報告会に足をお運びくださいますようお願い致します。

議会広報特別委員会

益子 明美